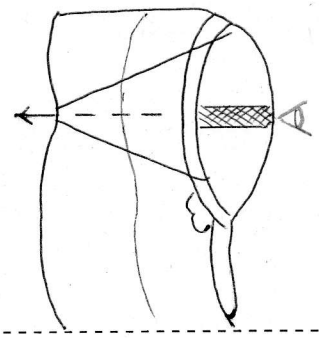
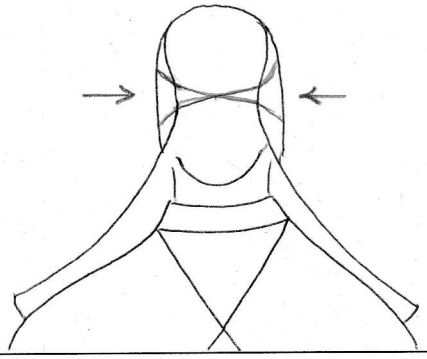
《剣道具の正しい着装要領》～「強さ」と「美しさ」を表現

<面ひもの結び方～SIDE>



<面ひもの結び方～BACK>

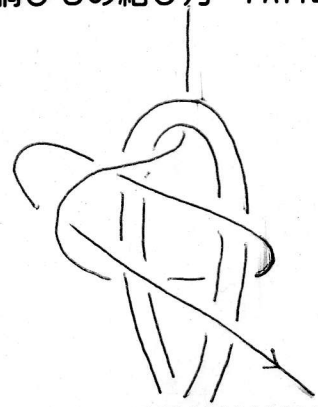


面を結ぶ際の留意点として上げられることは、面ひもを後頭部で交差させ、その位置で結ぶのが正しいとされている。

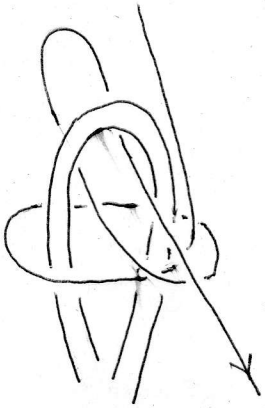
具体的な位置としては、面金中央上部の**「物見」**（広い部分）の反対側となる。

この位置で結ぶと、**「美しい面の形」**を表現することができる。また、左図のように「肩の線」より**「面垂」**の線が高くなるため、相手側から見たとき大きな姿に映ってくる。

<胴ひもの結び方～PATTERN①>



<胴ひもの結び方～PATTERN②>



胴ひもは、ひもを絡めたように結ぶと、ひも同士の摩擦により、切れ易くなってしまうことがある。

それだけでなく、汗を多くかく人の場合、ひも自体に汗が浸み込むため、容易にほどけなくなる場合がある。

結び方として、左図（PATTERN①、②）のように胴の**「乳革」**に巻き付けるようにして結ぶのが正しい。解けにくく、しかも簡単に解きやすい方法である。

※　これを「引き抜き結び」という。